

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成29年1月18日
主管学校名	京都教育大学附属幼稚園
PTA会長名	美濃 智広

実施概要	主管校	京都教育大学附属幼稚園
	交流校	京都教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	親子鑑賞会
	実施日時	平成28年11月2日
	実施場所	京都教育大学講堂
	実施目的	人形劇を鑑賞して楽しむ貴重な機会を共有する。
	実施内容	〈人形劇・トロッコ〉の舞台と一緒に鑑賞する。
	実施方法	附属幼稚園行事の親子鑑賞会に特別支援学校の小学部児童を招待した。
	参加人数	附属幼稚園園児（136名） 保護者（136名） 教職員（9名） 特別支援学校 小学部児童（18名） 教職員（8名）

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園の行事である親子鑑賞会に、特別支援学校小学部児童と教諭を招待した。 音楽鑑賞の内容は、日本をはじめ、いろいろな国で活躍されているトロッコさんによる舞台で、“ざるしばい さるかに” “わんぺいの腹話術” の人形劇を鑑賞した。
	結果	<ul style="list-style-type: none"> “ざるしばい さるかに” の人形劇では家庭でも使われている昔ながらのざる、洗濯バサミ、たわし、バケツなどが“変身”して、モノによる新しい視点から楽しめる子供たちの大好きな“さるとかに”のお話を鑑賞しました。 わんぺいの腹話術では、犬のキャラクターわんぺいくんが腹話術によって楽しませてくれます。人形劇が終わる頃には、わんぺいくんは子供達にとっていつまでも一緒にいたくなる存在になっていました。 附属幼稚園の園児も保護者も特別支援学校の小学部の生徒さんも、とても大きな声で笑い、手をたたいて喜び楽しみました。
	所感	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園の園児と特別支援学校小学部の児童さんと一緒に人形劇を鑑賞することで、共に喜び、楽しみ、心豊かに過ごす時間を共有することができました。鑑賞会が終わり帰る頃には、附属幼稚園の園児と特別支援学校小学部の児童さんと手をふり合って笑顔でお別れすることができました。

添付書類	5枚
------	----



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成29年1月18日
-----	------------

学校名	京都教育大学附属幼稚園
-----	-------------

学年	
----	--

- ・ いっぱいわらってたのしかった。
- ・ さるとかにのおはなしがだいすきなのでうれしかった。
- ・ こがにがたくさんで来たところがおもしろかった。
- ・ にんぎょうがしゃべるのがふしぎです。
- ・ わんぺいくんがおもしろくてほしいです。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成29年1月18日
学校名	京都教育大学附属幼稚園

- ・ 子供達は腹話術に興味を持ち、とても真剣に鑑賞していました。
- ・ “さるとかに”のお話は子供達にもなじみがあり、内容もわかりやすく、とても喜んでいました。
- ・ 劇の中で、ざるや洗濯バサミをいろいろな形で使われ、衣装なども工夫されているなど思いました。
- ・ 会場の中にいる皆が一つになって楽しませてもらいました。
- ・ 特別支援学校小学部の生徒さんと、楽しい人形劇を通して、笑顔で交流できたことが嬉しいです。